

兜町における金融系スタートアップの エコシステム形成



平和不動産 取締役 執行役員

中尾 友治

はじめに

東京都中央区日本橋兜町。「兜町」という町名の由来は、今から千年程前、この地に祀られた鎧兜に起原があるとされていて、源義家の兜であったという説、あるいは平将門の兜であったという説、諸説がありますが、江戸時代の後期には、その兜塚は、人々から開

運や必勝の祈願の対象となっていたと伝えられています。

明治を迎えた兜町は、資本主義の父 渋沢栄一が自宅・事務所を構え、銀行や証券取引所を興し、間接金融と直接金融の基盤を整えた上で約500社の起業に関わり、「コト始めの街」、「金融・証券の街」として、様々な情報が集まり未来へ向かって挑戦する人々の情熱の起点となる街となりました。なお、弊社の本社は、渋沢栄一がかつて自宅を構え、後に事務所を置いた地に建っています。

さて、現在の兜町は、日本取引所グループ／東京証券取引所をはじめ証券関係の諸機関が本拠を置く“日本のウォール街”としての性格が強まりましたが、株式取引のシステム化、株券売買立会場の閉場により証券会社の事務所の集中度が緩和したことで、東京駅や国際空港からのアクセスが良好でありながら比較的リーズナブルにオフィスを借りられる街として変化しました。高度経済成長期やバ

目次

はじめに

1. 国際金融拠点の一翼を目指して
2. 新たなコミュニティの萌芽
3. 都・金融庁・証券業界との連携
4. サービスオフィス「FinGATE」の展開
5. 公的セクターの新拠点の開設
6. 街の新たな彩り
7. 「KABUTO ONE」の完成

ブル経済期の栄華を知る方々には寂しく映りますが、再びスタートアップが挑戦を始めやすい敷居の低さを備えたとも言えます。

■ 1. 国際金融拠点の一翼を指して

弊社が、兜町・茅場町地区の再活性化に取り組んでいくことを宣言したのは2011年のことでした。当時、東京証券取引所ビルのオーナーではありましたが、それ以外の再開発用地の地権はあまり有しておらず、以来、土地の取得や地権者との共同開発化に向けた協議、行政や地域の方々とのコミュニケーションなど街づくりへの挑戦がスタートしました。2014年には、兜町・茅場町地区の再活性化構想をまとめるための有識者会議「投資と成長が生まれる街づくり協議会」を設置し、その答申として、この地域が独立系資産運用会社や金融系ベンチャー企業の成長の起点となる役割を果たし、資産運用ビジネスの多様化・国際化を通じて成長分野への投資が促進され、日本の金融資産の増大に貢献することを目指すことが望ましい旨の意見がまとまったことを踏まえ、フィンテックと呼ばれる金融系ベンチャー企業や独立系の資産運用会社のエコシステムの形成を通じて国際金融拠点の一翼を担う取組みを推進することとなりました。

■ 2. 新たなコミュニティの萌芽

その構想具体化から約5年が経過した2021年夏現在、約50社の新たなプレーヤーがこの街に集まってきています。どのような会社なのか、理解の一助としていただけるよう、各社のウェブサイトから会社のミッションをピックアップし、以下に紹介します。

「投資の力で未来を創る」

「世界に貢献する投資」

「テクノロジー企業をグローバルな成功へ橋渡しする」

「Independent Thought, Quality Advice」

「次世代の挑戦する金融へ」

「新しい地銀の未来を、デジタルの力で」

「良質なファンドを個人へ」

「企業と投資家の強い絆を生み出す」

「建設的な対話による上場会社の価値向上を日本にて友好的に」

「すべてのステークホルダーを思いやり、あるべき株主価値を実現する」

「一人でも多くの迷える投資家と悩める経営者を無くす」

「投資を変える IFAを革える」

「世界の人々の人生を豊かにするアイデアを提供する」

「機会の平等を通じた貧困削減」

「産業を創る、挑戦者と共に」

こうした会社の起業家のプロフィールは、グローバルな金融機関で経験を積まれて独立

した方、日本を代表する金融機関のトップマネジメントだった方、一旦外国で起業された後に日本に回帰された方など様々であり、また、外国の金融機関の日本進出拠点なども徐々に増えています。それぞれの会社に所属・勤務されている方々も含め、兜町地区は、国籍も年齢もジェンダーも多様化が進んでいます。昨年秋、NIKKEI Financial誌は「株の街に「ファンド梁山泊」」という見出しでその様子の一端を報じています。

■ 3. 都・金融庁・証券業界との連携

弊社では、こうした国際金融拠点の形成に向け、若手に比重を置いたチームを構成したり、日本取引所グループに社員の出向を請うたり、語学やコミュニケーションが堪能な社員を中途採用したり、国籍様々なインターンを受け入れたりしながら、次のような活動を進めてきました。

① 海外の金融都市に赴き、現地の金融関係者が日本のマーケットやビジネス環境についてどのような意識を持っているのか対面でのヒアリング調査を実施しました。規制環境や税率の重さなど課題を指摘する声がありましたが、一方で多くの関係者（日本人、外国人にかかわらず）が、日本が国際金融都市としての競争力を高めようと変化していることについて期待していることを実感しました。

② そして諸外国の金融関係者から集めた

声を東京都、金融庁、証券業界等にフィードバックすることに努めました。この活動を通じて、証券業界の関連するワーキンググループとの協力関係の構築を得たり、東京都の「国際金融都市 東京」構想の立案過程に参画したり、兜町再開発計画が国家戦略特区のプロジェクト案件となったり、関係各方面から認知を得ることとなりました。

③ 関係各方面からの協力を得ながら、継続して海外金融都市におけるプロモーション活動を展開しました。その活動の推進母体として非営利の一般社団法人国際資産運用センター推進機構（JIAM）を設立し、金融分野での国際的な経験を有する理事を中心に海外の金融プロモーション組織や現地の金融機関やフィンテック企業との交流を助け、ワークショップ等の開催を重ねてきました。現在、JIAMは、日本取引所グループと平和不動産を正会員とし、日本証券業協会、投資信託協会、日本投資顧問業協会を特別会員とする座組みにより運営されています。

■ 4. サービスオフィス「FinGATE」の展開

弊社では、2017年以降、兜町・茅場地区にサービスオフィスFinGATEシリーズを展開してきました。現在、4施設、56区画にまで拡張し、先述のとおり、約50社の新たなプレーヤーではほぼ満床状態であり、今年度末には、更に1施設を開設する計画を準備中であり、

数年先には100社の集積を目指しています。FinGATEを開設している建物は、旧日興証券本店として建てられた建物であったり、旧三洋証券本店あるいは旧山一証券本店であったりと、建築時のクオリティが高かった建物を有効に活用しています。FinGATEには、かつて海外でのヒアリング調査で出会った方が数年後に帰国、独立して入居いただいた例もあり、さらにその方の繋がりや、次の入居会社が決まっていくといった縁の連鎖が生まれています。また、FinGATEに入居した企業をサポートするサービスパートナーのエンゲージにも努めており、クラウドサービス、会計・法務・税務サービス、ウェブサイト制作等の支援サービス、金融事業ライセンスの取得及びミドルバックオフィス業務の支援サービスの提供などの各種のサービスメニューの充実化を進めています。

■ 5. 公的セクターの新拠点の開設

「一般社団法人Fintech協会」がFinGATE KAYABAに事務局オフィスを開設し、会員向けの活動を推進したことで、兜町地域以外からのスタートアップ関係者の来街機会が増えています。また、本年4月には、金融サービス仲介業の普及推進及び自主規制機能を担う「一般社団法人日本金融サービス仲介業協会」の事務局もFinGATE KAYABAに開設され、今後活動の本格化が期待されます。

また、2019年春には、東京都の「国際金融都市 東京」構想の施策の一つとして官民連携の金融プロモーション組織である「一般社団法人東京国際金融機構 (FinCity.Tokyo)」が設立され、FinGATE KABUTOに事務局オフィスを置き、政策提言や国際渉外の活動を活発化しています。FinGATEのコミュニティの中で関係者のニーズを把握し、現場の声を政策提言に役立てるという作用が生まれ、コミュニティが更に活性化するという好循環が生まれているようです。

さらには、本年6月、金融庁・財務局が運営する海外金融事業者向け窓口となる「拠点開設サポートオフィス (Financial Market Entry Office)」がFinGATE TERRACEに拠点を開設しており、近隣に所在する投資信託協会や投資顧問業協会という自主規制機関やFinCity.Tokyoと相俟ってワンストップで海外の金融機関をサポートする体制が形成されています。

■ 6. 街の新たな彩り

ここ数年、東京証券取引所周辺の界隈には、新しい施設やお店がオープンしています。旧くは第一国立銀行の別館として建てられた建物を改修し、ホテル、レストラン、バー等のマイクロ・コンプレックス施設として生まれ変わった「K5」、かつて証券マンに愛されたいなぎの名店が姿を変えたクラフトビール店「Omipollos Tokyo」、パティスリー／ベ



▲大型サインージ「The HEART」

間には、「The HEART」と名付けられた世界最大級のキューブ型大型のサインージが鼓動を開始しました。

「The HEART」は日々の金融マーケットの動きをダイナミックな映像に変換して兜町の交差点を照らします。日本を代表する東京の金融軸と称される大手町・丸の内から兜町に至る永代通りの新しいランドマークとして、また、多くのスタートアップの成長の記録を映し出す記念碑として、多くの人々に親しまれることを願います。



ーカリーの「ease」、ビストロレストラン「Neki」など、个性的なお店が賑わいを集めていますし、「Jazz EMP」イベントや伝統芸能をベースとした「一粒万倍」イベント、また、渋谷栄一ゆかりのイベントなど文化の発信地としての輝きも生まれつつあります。

■ 7. 「KABUTO ONE」の完成

本年8月、兜町・茅場町再活性化プロジェクトを象徴する新築ビル「KABUTO ONE」が完成しました。今秋から年末にかけて「KABUTO ONE」の低層部に、ホール&カンファレンス施設やレストランが開業する予定です。「KABUTO ONE」のアトリウム空